

平成26年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成26年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

1 支払状況

平成26年度の支払人数は45,270人、支払額は15,999,183千円となっています。前年度に比べると、支払人数で117人増(0.27%増)、支払額で855,268千円増(5.66%増)と、いずれも増加しています(図1)。

1人当たりの平均支払額については353千円となっており、前年度と比べると、18千円増加しています(図2)。これは、平成26年度に退職報償金が大幅に引き上げられた結果、現年度退職者に係る支払額が増加したことが主な要因です。また、最近に見られる増加傾向については、経験を積んだ熟年層団員の割合が増加し、勤務年数が長期化していること(図4にて後述)が要因として考えられます。

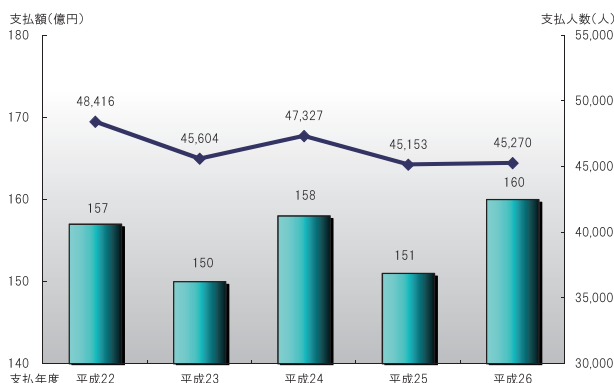


図1 支払人数と金額(最近5か年)

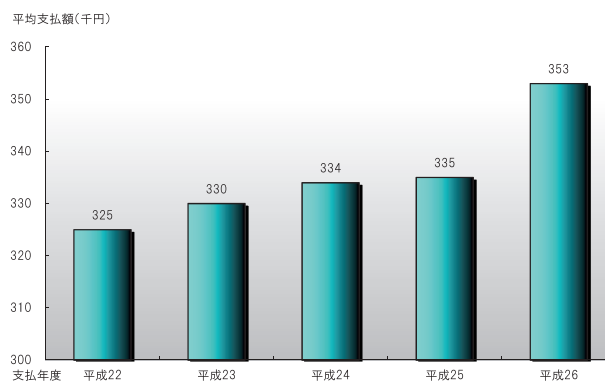


図2 平均支払額(最近5か年)

2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の15,166人(33.5%)が最も多く、続いて「班長」の10,377人(22.9%)、「部長」の9,145人(20.2%)

の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の76.6%を占めています(図3)。階級別支払人数に変化はあまり見られません。

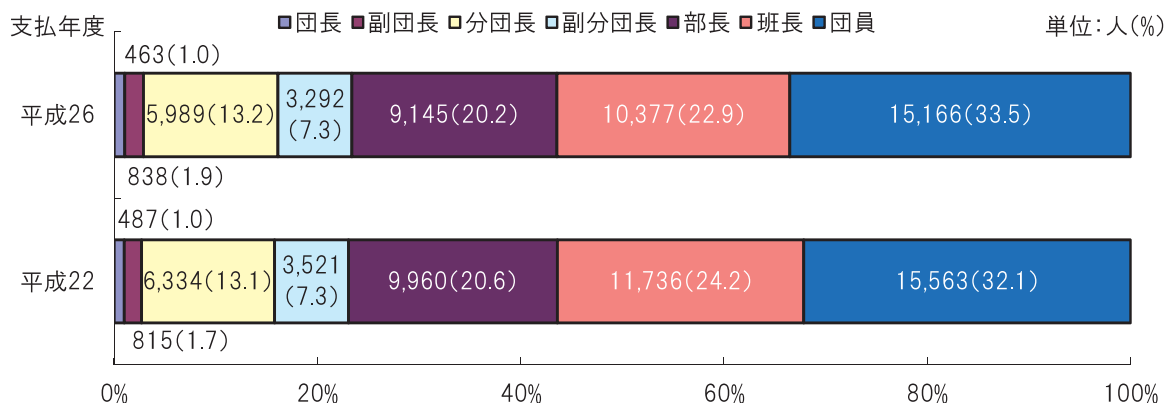


図3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の11,584人(25.6%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の9,833人(21.7%)、「15年以上20年未満」の8,070人(17.8%)の順となっており、この3

つの勤務年数区分を合わせると全体の65.1%を占めています(図4)。最近5か年を見ると、15年未満が減少傾向であるのに対し、15年以上が増加傾向にあり、勤務年数の長期化が進んでいます。

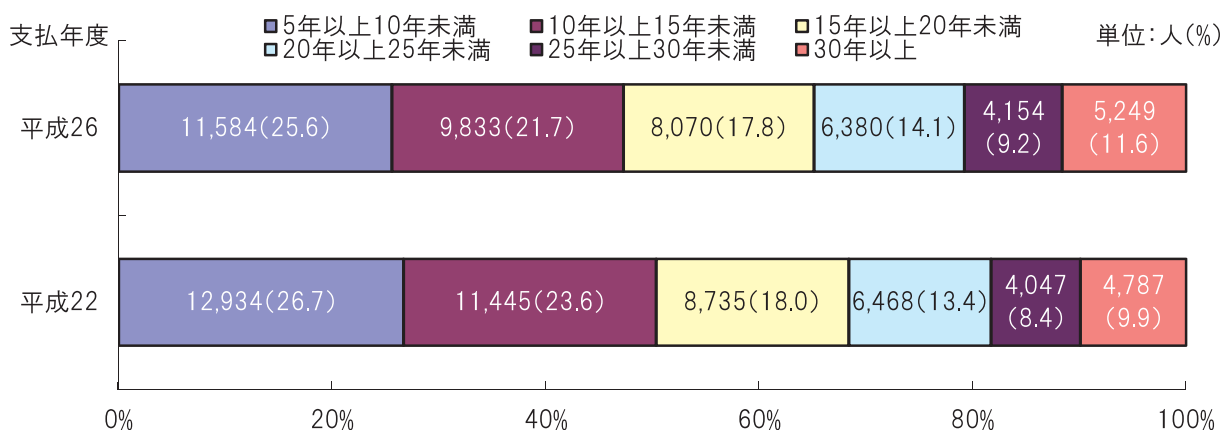


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(※)では、「過年度退職者」の31,546人(69.7%)に対し、「現年度退職者」は13,724人(30.3%)となっています(図5)。最近5か年を見ると、現年度(過年度)支払人数の割合

は減少(増加)傾向を見せています。この主な要因としては、4月1日退職の団員数に比して3月31日退職の団員数が増加していることが挙げられます。

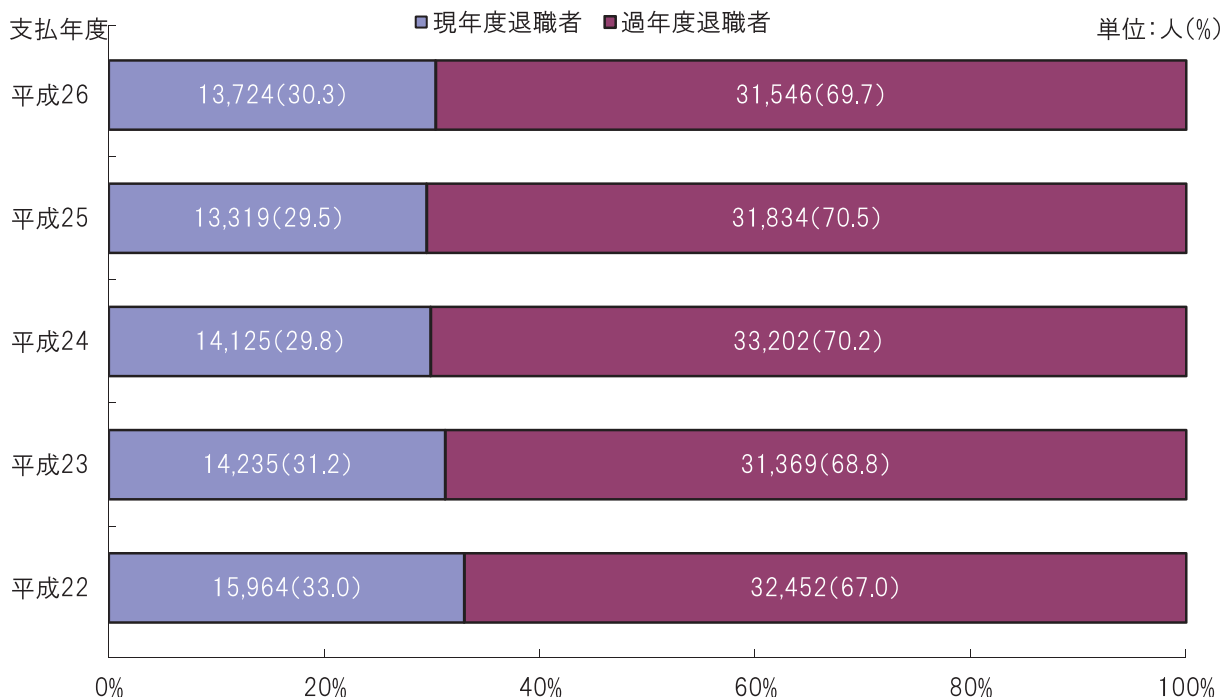


図5 現年度・過年度別支払人数(最近5か年)

3 支払額

支払額について見ると、階級別では、「団員」の3,620百万円(22.6%)が最も多く、続いて「部長」の3,424百万円(21.4%)、「班長」の3,376百万

円(21.1%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の65.1%を占めています(図6)。

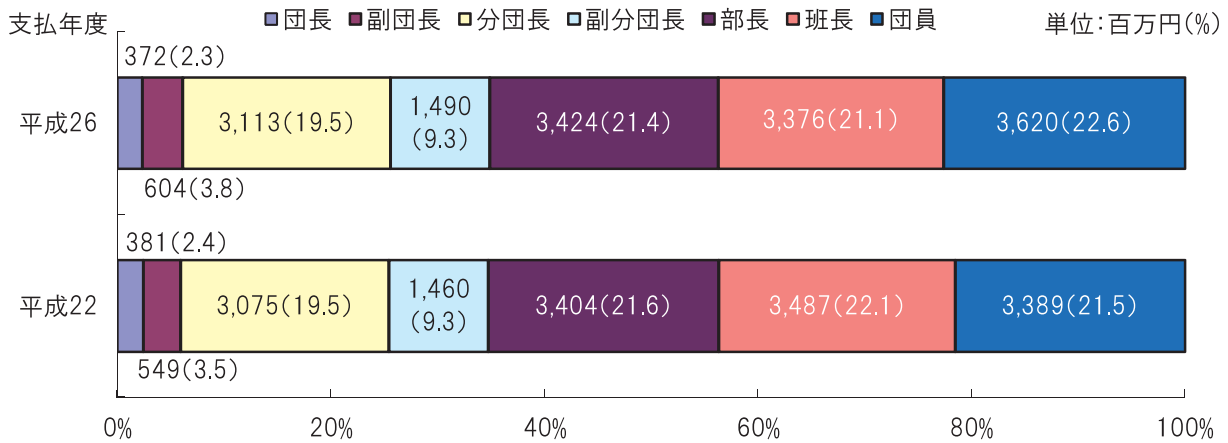


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の4,057百万円(25.4%)が最も多く、続いて「20年以上25年未満」の2,678百万円(16.7%)、「15年以上20年未満」の2,645百万円(16.5%)の順となっており、

この3つの勤務年数区分を合わせると全体の58.6%を占めています(図7)。最近5か年を見ると、20年未満の割合が減少傾向であるのに対し、30年以上の割合が増加傾向にあります。

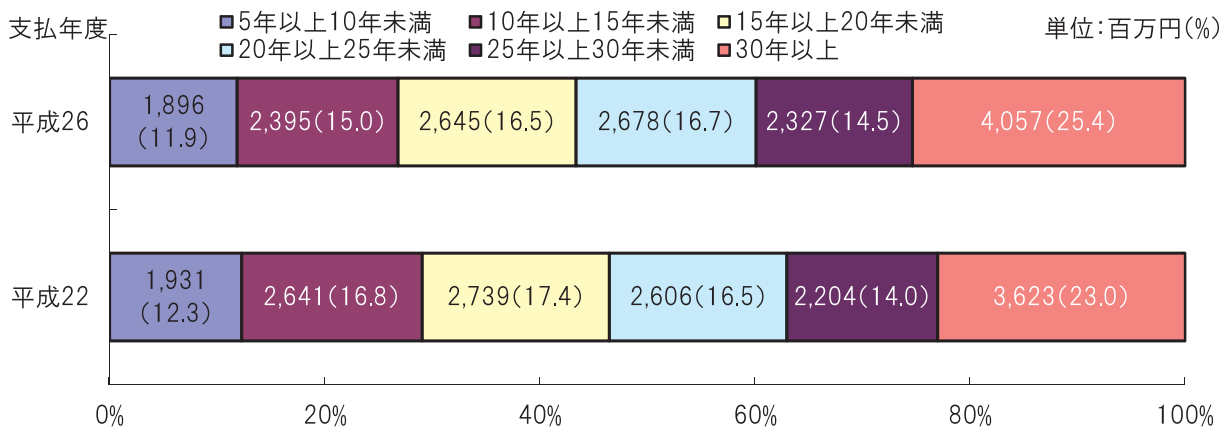


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の10,522百万円(65.8%)に対し、「現年度退職者」

は5,477百万円(34.2%)となっています(図8)。

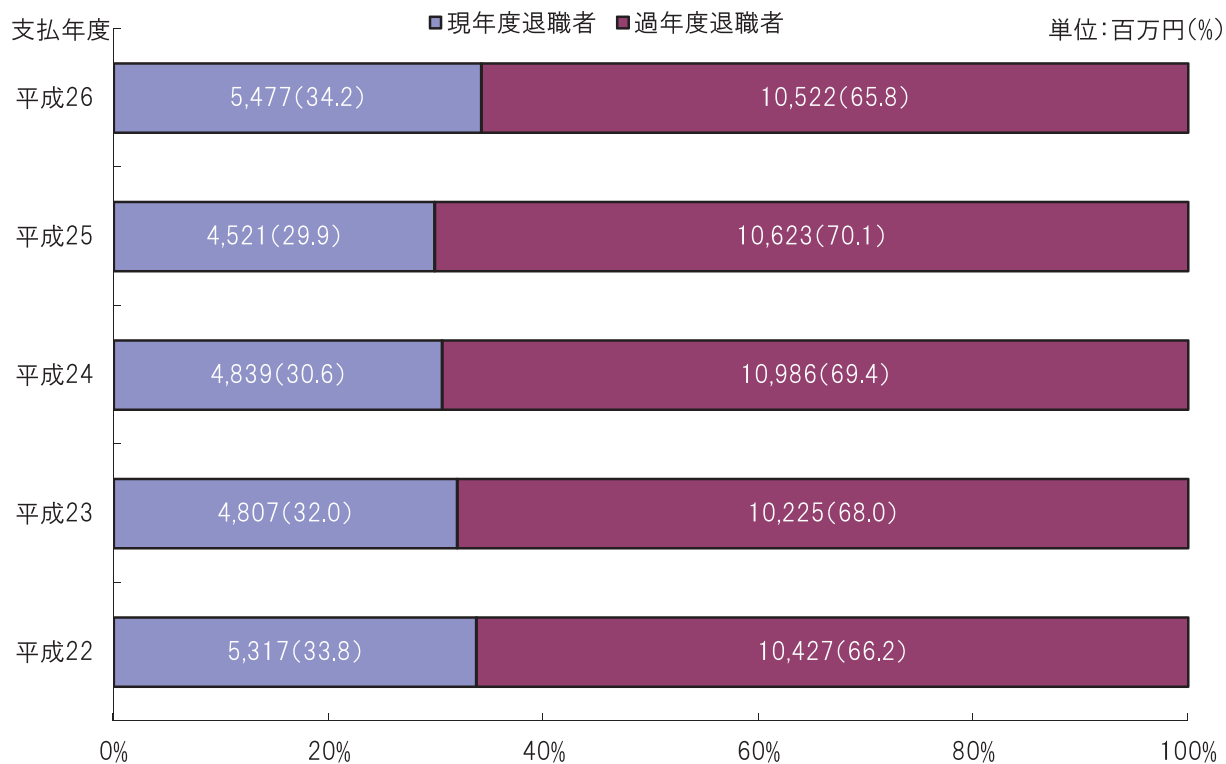


図8 現年度・過年度別支払額（最近5か年）

※ 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。